

報道解禁：令和4年12月12日（月）14：00以降

令和4年12月12日
独立行政法人日本学術振興会

女性研究者の出産に伴うキャリア継続支援事業について

独立行政法人日本学術振興会（理事長：杉野 剛）は、新たに、女性研究者の出産に伴うキャリア継続支援事業を開始することをお知らせします。本事業は、女性研究者の妊娠中及び出産後の健康の確保のため、出産に伴う特別研究員及び海外特別研究員の採用中断期間中に支援助成金を措置することにより、安心して研究者としてのキャリアを継続できるようにすることを目的としています。本事業は令和5年1月より申請の受付を開始します。

1. 女性研究者の出産に伴うキャリア継続支援事業について

我が国として学術の振興を図るためには、女性研究者を含めた多様な人材が研究者としてのキャリアを安心して継続できる環境の整備が必要となります。

このため、独立行政法人日本学術振興会（以下「本会」といいます）では男女共同参画推進の取組の一環として、「女性研究者の出産に伴うキャリア継続支援事業」（以下「キャリア継続支援事業」といいます）を開始します。女性研究者の妊娠中及び出産後の健康の確保のため、出産に伴う、特別研究員及び海外特別研究員の採用中断期間中に支援助成金を措置することで、安心して研究者としてのキャリアを継続できるよう、「女性研究者の出産に伴うキャリア継続支援金」（以下「キャリア継続支援金」といいます）を支給します。

2. 支給対象者・支給対象期間・支給金額について（詳細な条件は申請要領で設定）

支給対象者

- ・ 特別研究員^{※1}又は
海外特別研究員^{※2}であって、
妊娠4ヶ月目（85日）以降に出産を行う者

支給対象期間

- ・ 産前6週間及び出産後8週間の期間

支給金額

- ・ 一日当たり10,000円

3. 申請受付開始について

令和5年1月 申請受付開始（予定）

4. 申請手続きについて

キャリア継続支援金の申請は、「女性研究者の出産に伴うキャリア継続支援事業申請システム」を通じて受け付けます。当該システムについては、本会の男女共同参画推進ウェブサイト「JSPS CHEERS!」の「JSPSの支援制度」(<https://cheers.jsp.go.jp/support/>)にて令和5年1月の公開を予定しています。



- ※1 我が国の優れた若手研究者（博士後期課程学生及び博士の学位取得者）に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る特別研究員事業に採択された者。年間約 5,000 名を超える若手研究者を採用し、採用区分に応じて年間 240 万～535.2 万円を支給。これまでにノーベル生理学・医学賞受賞者の山中伸弥京都大学教授も特別研究員として活動するなど、我が国の第一線級の研究者の養成に寄与しています。
- ※2 我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する海外特別研究員事業に採択された者。年間約 400 名を採用し、派遣国に応じて年間約 450 万～620 万円を支給。これまでに猿橋賞受賞者の鳥居啓子名古屋大学客員教授も海外特別研究員として活動するなど我が国の第一線級の研究者の養成に寄与しています。

本件問い合わせ先：

独立行政法人日本学術振興会 経営企画課 企画・評価係

電話：03-3263-0974